2022.5.11日経MJより

GUのマネキン、学生がコーデ

モード学園生が着こなし提案

新宿フラッグス店ではサマーデニムを学生がリメークした服を展示している

新宿フラッグス店では、マネキンに着せる服の組み合わせを東京モード学園の学生が考えた

ファーストリテイリング傘下のジーユー（GU）は、専門学校生による着こなし提案を始めた。学生が店舗のマネキンに着せる服の組み合わせを考え、スマートフォンのアプリではGUの服を着た写真を投稿する。GUは若者の感性を取り入れながら、流行を意識した着こなしを提案し、販売拡大につなげる考えだ。

アプリで配信も

4月22日にオープンした新宿フラッグス店（東京・新宿）では、マネキンに着せる服の組み合わせを東京モード学園（東京・新宿）の学生が考えた。サイズの小さいTシャツ「ミニT」と色鮮やかなボトムスを組み合わせ、流行を意識した着こなしを提案する。

夏向けに薄い生地を使った「サマーデニム」についても、東京モード学園の学生がリメークし、店内に展示した。名古屋ゲートタワー店（名古屋市）でも名古屋モード学園（同）の学生がマネキンの服選びを担当した。

消費者がユニクロやGUの服の着こなしを発信・閲覧できるアプリ「StyleHint（スタイルヒント）」では、東京モード学園や名古屋モード学園の学生が写真を投稿する。

ライブ配信サービス「インスタライブ」を使って新商品やお薦め商品を紹介する「GU LIVE STATION（ジーユー・ライブ・ステーション）」では、学生が参加して自ら着こなしを説明し、視聴者からの質問に答える。

新宿フラッグス店は新宿で3店舗目。新宿にはすでにビックロ新宿東口店や西武新宿ペペ店があるが、新宿フラッグス店では女性向け商品は超大型店並みの品ぞろえがあり、オンラインストア商品も取り扱う。駅直結のため仕事帰りや通学帰りなどに寄りやすく、幅広い客層が来店すると見込まれる。

ベーシックな商品が多いユニクロに対し、GUは流行を取り入れ、ファッション性を重視している。これまでGUでは認定コーディネートアドバイザーの「おしゃリスタ」がトレンドのアイテムを着こなす方法を提案してきた。専門学校生の感性を取り入れることで、幅広い世代の支持を得たいと考え。

GUは国内に約410店舗ある。ユニクロの国内店舗（約800店）と同等レベルを目指し、年間30～40店舗を出店してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で出店ペースが鈍化している。足元ではコロナの影響が一服しており、再び出店を強化する方針だ。

（花田幸典）

商品を紹介するライブ配信には専門学校生㊨も参加した